

新 郡市医師会長 インタビュー

第 8 回 吉南医師会長 西田 一也 先生

と き 平成 29 年 2 月 16 日 (木)

ところ 山口県医師会会議室

[聞き手：広報委員 長谷川 奈津江]



長谷川委員 本日は、昨年 6 月に吉南医師会の会長になりました西田一也 先生にお話をお伺いしたいと思います。ご多忙のところ、インタビューの時間をいただきまして誠にありがとうございます。

さっそくですが吉南医師会についてご紹介いただけますか。

西田会長 吉南医師会は、旧山口市南部地区（陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山）と旧吉敷郡 3 町（小郡町、阿知須町、秋穂町）の地区にある医療機関で構成されており、現在の山口市南部地区が医療圏となります。平成 28 年 12 月 31 日現在、医療機関数は病院 6、診療所 41、健診センター 1 の合計 48 医療機関となっております。吉南医師会は准看護学院を併設し、地元医師会の会員の協力により、これまでに 1,200 名を超える准看護師を育て、地域医療に貢献してきました。医師会の主な役割は、地域医療・保健・福祉を通して、住民の皆様の健康保持・増進に貢献することですが、山口県や山口市の医療行政と協力しながら、各種がん検診事業、小児や妊産婦の健診事業、麻疹やインフルエンザ等の予防接種事業、学校医や園医としての学童保健、介護認定審査会や

健康教育講座への出務をはじめ特定健診・特定保健指導を行うことにより、市民の皆様の身近な事業に貢献しています。

吉南医師会の名称につきましては、県内の方もそうですが、「吉南」と言われて分かる人はあまりおられないと思い、以前、名前をどうしようかというような話もありましたが、変更することなく現在に至っています。

長谷川委員 私は宇部市ですが、小郡第一総合病院の眼科の先生方にはお世話になっております。確かに「吉南」のエリアを聞かれると、ちょっとはっきりしない感じはあります。病院が多いので勤務医の先生も多数居られるのではないかと思います。いかがでしょうか。

西田会長 勤務医の先生の入会が非常に多く、特に小郡第一総合病院が多いです。

長谷川委員 病診連携について教えてください。

西田会長 地域内だという感覚はあまりなく、宇部にも近いですし、山口、防府にも結構近くて、もう少しいけば小野田ぐらまで連携しています

ので、地域的には非常に恵まれていると思います。

長谷川委員 確かにアクセスのいい地域というイメージがあります。次に吉南医師会の会長になられての抱負をお聞かせください。

西田会長 外向きにいろいろなことをするのは大きな医師会にお任せして、本会では比較的若い先生もたくさんおられるので、ベテランの先生とその若手の先生方とのコミュニケーションを上手く取りながらやっていきたいと思っています。

長谷川委員 ホームページを拝見しますと、やはり救急医療が大変ということが書かれておりますが、これにつきましてご説明いただけますか。

西田会長 救急医療体制の一次救急として、休日、土曜夜間を在宅輪番制で行い、土曜日が 2 医療機関、休日が 3 医療機関としており、山口市休日・夜間急病診療所と合わせて、市民の皆様の急な病気等に対応しています。

長谷川委員 小児科や産婦人科につきましては、子ども医師が足りずに困っているようですね。次に今後、力を入れたいことがあれば、お教えいただけますか。

西田会長 周囲の医師会としっかり連携を図っていき、意見が言えるようにしたいと思っています。

長谷川委員 看護学校にも力を入れておられると思いますが、今はどこの医師会も看護学校の運営が大変と大きな問題となっております。こちらについてはいかがでしょうか。

西田会長 本会は小郡にあるので学生はいろいろなエリアから集まってくれています。また、会員の先生方のご協力により、順調にいつていると思っています。

長谷川委員 なかなか生徒が集まらない医師会立の看護学校も少なくないようですが、そのような

中で順調とはなによりですね。

西田会長 ただ、新卒の方はあまり多くなく、わりと幅広い年齢層になっています。

長谷川委員 学校を出たての子よりも一生懸命勉強している印象があります。

西田会長 個人的には入学試験が新卒の方にはあまり向いていないのかなと思っています。

長谷川委員 難しいということですね。次に県医師会や日本医師会へのご意見等はございますか。

西田会長 国や厚労省の施策に対する意見をしっかりしていかないといけないと思いますので、そこをお願いしたいです。県医師会の事業が、以前にも増して重要性が高まってきていると思います。

長谷川委員 世間、社会が医師に求めるハードルも高くなっております。県医師会に的確に対応、指針を示してもらする必要がありますね。先生は病院長ということで、一人で診療している開業医と違って、若い先生、いろいろな科の先生と接することが多いと思いますが、何かメッセージはございますか。

西田会長 今の若い先生は、研修制度のお陰もあって、きちんとされており、自分の頃と比べると進んでいるなという印象があります。

長谷川委員 わたしたちの世代と比べても、労働者としての権利が確立されている気がします。自分のこと、自分の科のことしか考えていなかった自分と比べると、多方面の情報収集を行い、外の世界にも目を向けていると思います。

西田会長 そういったことを活かしてもらって、さらに地域医療に貢献していただきたいと思っています。

長谷川委員 先生の病院（阿知須同仁病院）には卒後の若い先生も来られるのでしょうか、それとも、ある程度修練された先生の方が多いのでしょうか。

西田会長 まちまちだと思います。

長谷川委員 次に、先生ご自身のご紹介をお願いいたします。

西田会長 私は生まれも育ちも阿知須です。高校は宇部高で、大学は久留米大学を昭和 62 年に卒業、山大の第一外科に入局し、平成 7 年から当病院で働いていて、医師会の方では平成 16 年から理事の仕事をしています。

長谷川委員 福岡県、山口県以外には行かれてないのでしょうか。

西田会長 愛媛労災病院に 3 年間居ました。

長谷川委員 阿知須については隅から隅までご存知と思いますが、お勧めのスポットはございますか。

西田会長 今は、きらら公園が凄くたくさんの人に利用されていて、イベントがひっきりなしに行われています。

長谷川委員 ある意味、山口県の代表的なイベント会場になっていて、どれも立派で綺麗ですよ。私も時々プールに行っています。世界スカウトジャンボリーの時には地元の引き受けということで大変だったのではないですか。

西田会長 いろいろな国から来られて大変でしたが、当病院も結構頑張っていたと思います。

長谷川委員 暑い時期で、熱中症患者等の対応が大変だったようですね。次に医師を志した理由をお聞かせください。

西田会長 親も医師でしたので、勧めてくれたのが一番大きかったです。

長谷川委員 自然な流れだったわけですね。次に座右の銘を教えてくださいませんか。

西田会長 特にないんですが、「髪の毛は後退しているのに自分は前進していないんですか？」ということをやつ談交じりに自分に聞いています。

長谷川委員 凄く面白いですね。ポジティブなお考えなのでしょう。最後に、病院長と医師会長、どちらが大変ですか。

西田会長 どちらも大変ですが、強いて言えば院長職ですかね。

長谷川委員 本日はご多忙中のところ、ありがとうございました。先生のますますのご活躍を祈念しております。

